

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成30年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県小瀬スポーツ公園	所管課	県土整備部 都市計画課
所在地	甲府市小瀬町840	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年11月1日
管理方式	(公財)山梨県体育協会		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	(1)都市公園としての①～③の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮すること ③良好な緑地景観、環境を提供すること (2)スポーツの場を提供すること (3)主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 46.0ha ○施設の内容 ・第1種公認陸上競技場(敷地面積34,825㎡、トラック、インフィールド、メインスタンド、バックスタンド、サブスタンド、電光掲示、夜間照明、17,183人収容) ・第3種公認陸上(補助)競技場(敷地面積23,902㎡、トラック、フィールド、器具庫、倉庫) ・球技場(敷地面積15,800㎡) ・野球場(敷地面積25,146㎡、内外野スタンド、スコアボード、夜間照明、13,091人収容) ・公認水泳場(敷地面積10,344㎡、50m及び25mプール、メインスタンド) ・庭球場(敷地面積17,150㎡、コート16面、メインスタンド) ・体育館(延床面積8,259㎡、3,404人収容) ・武道館(延床面積11,449㎡、武道場、弓道場、相撲場、2,864人収容) ・アイスアリーナ(延床面積5,071㎡、882人収容)・クライミング場・駐車場(第1～5) ・その他(クラフトタワー、芝生広場、緑地、園路広場)		
主な業務内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)有料施設の利用承認 (3)スポーツ振興のための催しの実施 (4)スポーツの講習会の実施 (5)県が実施する大会等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	緑が丘スポーツ公園
------------------------------	-----------

3 利用状況

単位:人、%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	2,162,732	2,064,431	2,228,690	
	有料施設利用者数(観客含)	(1,095,887)	(1,144,481)	(1,099,715)	
	利用者数合計	2,162,732	2,064,431	2,228,690	
	目標値	1,860,000	1,938,000	1,898,000	2,116,000
	目標値設定の考え方 及びその理由	4月から1月については各施設毎の平成30年度実績をもとに、体育館の6月から3月、また、陸上競技場・補助競技場の12月から3月、その他の施設の2月から3月については平成29年度の各施設毎の実績をもとに、全体として、平成30年度の関東規模以上の予約状況を考慮し積算。			
	対28年度比		95.5%	103.0%	
利用率	5,925人/日	5,655人/日	6,106人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成29年度	平成30年度 (計画値)	平成30年度 (実績値)	令和元年度 (計画値)
収入	施設利用料	164,511,936	131,262,000	156,986,093	163,000,000
	指定管理者委託料	428,669,000	433,791,000	433,791,000	435,496,000
	その他	34,276,728	35,145,000	32,877,528	33,105,000
	収入合計(A)	627,457,664	600,198,000	623,654,621	631,601,000
支出	人件費	193,412,176	205,727,000	207,919,897	183,222,000
	県への納付金				
	管理運営費	429,126,259	394,471,000	409,948,813	448,379,000
	うち外部委託費(B)	176,339,783	176,814,000	177,360,847	231,994,000
	支出合計(C)	622,538,435	600,198,000	617,868,710	631,601,000
収支差額(A-C)		4,919,229		5,785,911	
外部委託比率(B÷C)		28.3%	29.5%	28.7%	36.7%
利用者一人当たりの経費		207.6	228.5	194.6	205.8

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施時期:平成30年4月～31年3月 実施方法:公園利用者(来園者)へのアンケート 回答数:169人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	54.0%	41.0%	3.0%	2.0%
園路や広場について	64.0%	28.0%	4.0%	4.0%
トイレや休憩所について	54.0%	27.0%	15.0%	4.0%
園内情報・案内板について	60.0%	29.0%	10.0%	1.0%
園内の安全・防犯について	57.0%	30.0%	12.0%	1.0%
公園スタッフの対応について	64.0%	27.0%	7.0%	2.0%
施設全般の満足度	63.0%	31.0%	5.0%	1.0%

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調が効かない。(武道館) ・シャワーの出が悪い。(体育館) ・雨がふったあと、客席の芝生等が滑って危ない。(テニスコート) ・トレーニング室でマシンの占領が目立つ(特にフリーウエイトエリア) <p>【Jリーグ、大型イベント大会時の駐車場】</p> <p>Jリーグや大型イベントの際、満車で駐車できない時があります。利用者の駐車スペースを確保してほしい。</p>
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県で冷温水発生機の修繕を行い対応した。設定温度の調整で対応。 ・水圧については、どこかのシャワーを使っても問題ないように調整を行った。 ・土の露出している部分の不陸整備を行った。 ・フリーウエイトエリアの利用マナーや利用時間(15分以内)等の禁止事項を表示するとともに、スタッフによる独占利用等の注意・指導に努め、フリーウエイトエリアの管理をより重点的に行った。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所の早期発見・修繕を行うとともに、整った公園環境を提供できるよう適切な保守・点検を実施した。特に、8月の落雷により、電気設備に多くの被害を受けたが、迅速な修繕・復旧に取り組んだ。また、台風での倒木及び影響を受けた樹木95本の伐採処理を行い、利用者・来園者にとって安全で快適な利用環境の維持に努めた。	適切に維持管理業務が行われている。施設の不具合の早期発見及び修繕を行い、さらに自然災害への対応も迅速に行うことで、利用者の安全と快適性の向上に努めた。 今後も適切な維持管理を行い、利用者へ安全で快適な公園環境を提供出来るよう努めること。
運営業務	多くの県民に親しまれる憩いの場として、また県内で最も充実した複合スポーツ施設としてその機能を十分に発揮できるよう取り組んだ。 経年劣化等により頻繁に発生する施設・設備等の修繕においては、迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう実施した。	営業時間の延長や回数券の発行等により利用者の利便性の向上に努めた。 また、スポーツに関する様々な教室や講習会等を開催することで、スポーツ振興にも貢献した。 今後も利用者の利便性の向上に努め、また、スポーツ振興につながる業務を企画実施すること。
利用状況	各種大会の実施や当協会主催の各種イベント、教室の開催によりスポーツ公園にふさわしい施設利用、貸し出しに努め、多数の方々に来園いただいた。 業務計画書に基づく各種(利用時間の拡大、無休営業、親切・丁寧な接客、迅速な対応等)の取り組みを、職員が日々誠心誠意努力した成果と考える。	改修工事等により施設の利用制限があったものの、イベントや教室の開催を広報やメディア等を活用し周知したことで利用者数の増加につながった。 今後も利用者が求めるイベントや教室を企画・開催し、効果的な情報発信を行うことで、利用者数の増加に努めること。
収支状況	無休営業、利用時間の拡大の定着や親切丁寧な接客等のサービス向上に取り組むとともに、空き情報の電子メールでの発信等積極的に取り組んだ結果、利用収入は事業計画を上回る収入額となった。支出についても、経費の節減に取り組む経費を削減するとともに、利用料の増加分と経費の削減分で計画以上の修繕の実施や備品整備を行った。	概ね事業計画書どおりの収支状況となった。 経費の削減が可能である箇所については削減に努め、今後も計画的な収支管理を行うこと。
自主事業	「浅田真央サンクスツアー」山梨公演などのイベントや、小椋久美子プレミアムバドミントンレッスンなどの一流プレイヤーを招聘し、スポーツの振興を図ることを目的に行った事業及び、体育館レストランの営業、イベント開催時の臨時売店の設置、管理事務所等での窓口売店等、業務計画書どおり実施した。	スポーツに関する様々な自主事業を実施しており、スポーツ振興や利用者数の増加に貢献している。 今後も利用者のニーズに合った自主事業の企画・実施に努めること。
利用者満足度	寄せられた意見を基に、早急に対応できるもの、改善できる事項については対応を行った。また、利用者モニターを委嘱し、積極的に利用者の意見を聴取し管理運営に反映した。各施設は、機能や利用環境を保全するとともに、安心安全な公園管理に努めたことで、高い満足度が得られたと考える。	適切に管理運営を行うことで利用者から高い満足度を得られているが、アンケート回答者数が少ない状況である。 今後は利用者からより多くの意見を集め、管理運営の参考にする事。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営目標の指標 ①来園者数 目標値 1,898,000人－実績値 2,228,690人 ②来園者数うち有料施設利用者数 目標値 1,061,500人－実績値 1,099,715人</p> <p>体育館メイン・サブアリーナ床張替工事、中銀スタジアム及び補助競技場の陸上公認更新工事による休場期間もあったが、Jリーグ、ルヴァンカップ戦、天皇杯サッカーで計6試合増加したことや、浅田真央サンクスツアー、プロ野球オープン戦(巨人vs日本ハム)の開催及び、秋季関東高校野球や全国ママさんバレーボール大会などの関東・全国規模の大会が各施設で行われたことにより利用者・来園者が目標値を大幅に上回った。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>適切な管理運営が実施され、利用者へ安全で快適な公園環境を提供できている。</p> <p>さらに、スポーツに関する様々なイベントや教室を開催しており、スポーツ振興や利用者数の増加へ貢献している。</p> <p>アンケート回答が少ない状況となっているので、利用者からより多くの意見を集めるよう、アンケートの設置箇所や方法等、工夫すること。</p> <p>また、建設から30年近く経過していることから、今後も施設の不具合の早期発見及び修繕に努め、より一層、安全で快適な公園環境を利用者へ提供し満足度の向上に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所の早期発見・修繕の実施、適切な保守・点検の実施により、利用者へ安全で快適な公園環境を提供できるよう努めた。</p> <p>また、スポーツに関するイベントや教室を多く開催したことや、これらの情報発信を強化したことで、利用者数の増加に努めた。</p>

7 管理体制(組織図)

平成30年4月1日現在

